

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東近江市長 小 棕 正 清

市町村名 (市町村コード)	東近江市 (252131)	
地域名 (地域内農業集落名)	上本郷 (川合町上本郷)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月3日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化や離農から現在までに農地中間管理機構に登録して認定農業者や集落営農組合に貸し出しを進めてきた。

(2) 地域における農業の将来の在り方

認定農業者や集落営農組合が水稻、小麦、大豆の輪作をするとともにキャベツ等の高収益作物への取組も進める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	22.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	22.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
今後認定農業者や集落営農組合の間で集約が進められるか検討する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
ほとんどの農地を活用中。
(3) 基盤整備事業への取組方針
老朽化の進展に応じて大区画化を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
現在他地区からハウス経営者を受け入れている、今後も希望者が有れば受け入れる。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
集落営農組合の状況に応じて委託の検討を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組方針】 ②環境こだわり農業を進める。 ③スマート農機具を導入し作業の効率化を図る。 ⑧老朽化の進展に応じて区画の大区画化を進める。				